



金沢スタジアム (金沢ゴーゴーカレースタジアム)

建築概要

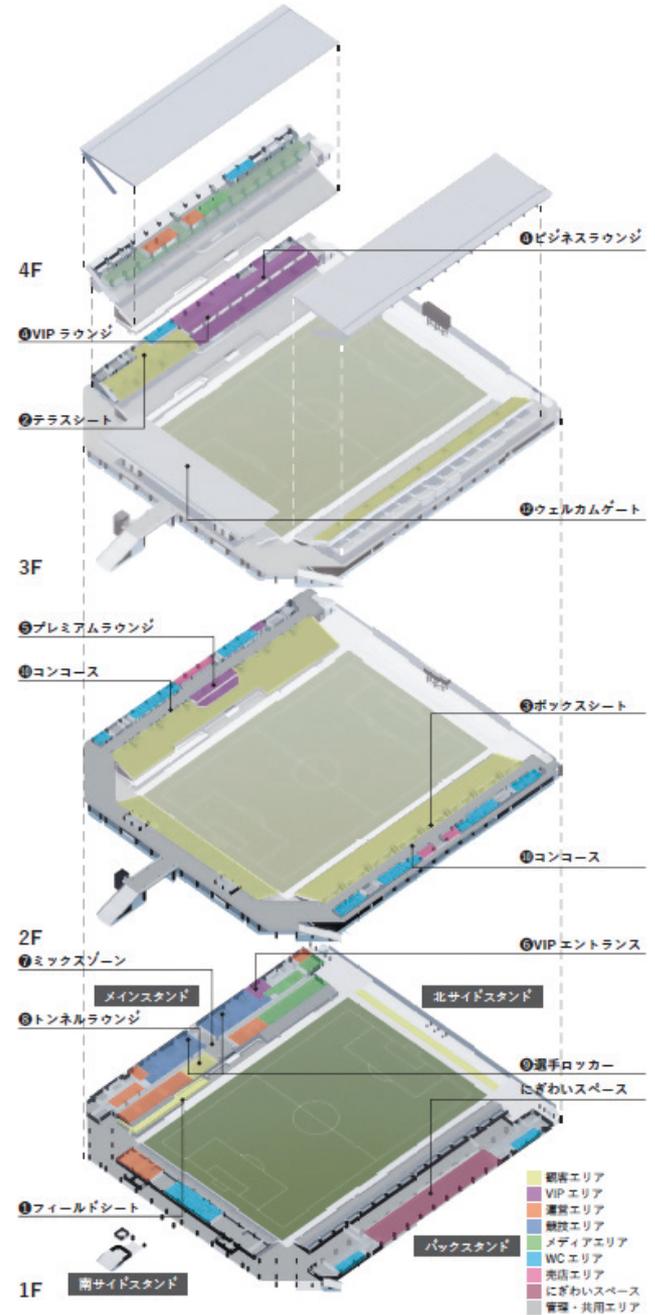
- 所在地 / 金沢市磯部町口 75 番地 1
- 用途 / 観覧場 (サッカー場)
- 建築主 / 金沢市
- 設計 / 株式会社梓設計
- 監理 / 株式会社梓設計、株式会社山岸建築設計事務所
- 施工 / 熊谷・植木・鈴木・北陸工建特定建設工事共同企業体
- 敷地面積 / 70,642.97㎡
- 建築面積 / 9,616.02㎡
- 延床面積 / 18,858.96㎡
- 建蔽率 / 13.61%
- 容積率 / 25.74% (容積率対象部分)
- 構造 / RC 造、SRC 造、一部 S 造
- 階数 / 地上 4 階
- 最高高さ / 22.60 m
- 収容人数 / 10,444 人 (うち車いす用 62 席)

金沢市民サッカー場の整備について

金沢市



配置計画



1. 経緯

平成 30 年、金沢市スポーツ文化推進条例の具現化及び金沢市が策定した第 1 次スポーツ施設整備計画の遂行のため、老朽化した市民サッカー場の再整備にかかる基本計画を策定しました。

その後、平成 31 年に公募型プロポーザル方式により最適な設計者を選定し、基本・実施設計を経て、令和 3 年 10 月に工事着手し、令和 5 年 9 月に工事が完了し、外構・駐車場整備工事を終え、令和 6 年 2 月 18 日の「こけら落とし」により、供用開始しました。

2. 建物概要

2.1 配置計画

スタンドは、メインスタンド・バックスタンド・南サイドスタンドが 2 階床レベルで接続されており、その他、ピッチレベルに近い北サイドスタンドで構成されています。

また、南側の駐車場から、ペDESTリアンデッキを渡ること、同じ 2 階床レベルに接続できる構造になっています。全ての席が屋根で覆われており、雨が多い金沢でも安心して観戦でき、また、高齢者・障害者等の円滑な移動等に配慮した安心・安全なスタジアムとなっています。



ペDESTリアンデッキ(上空通路)

2.2 メインスタンド

1階には運営・選手エリア、観覧エリア、研修室を配置しています。2階には、観覧席とプレミアムラウンジ席。3階にはVIP エリア等を配置し、4階はメディアエリアとしています。各研修室は利用が可能となっており、企業のセミナー等多用途での利用が可能です。

1階の観覧エリアでは、選手入場やインタビューの様子が間近で見れるトンネルラウンジを計画しました。選手入場の際の緊張感や、試合後の開放感など、普段は見られない選手同士のやり取りなど見られる空間となっています。



トンネルラウンジ

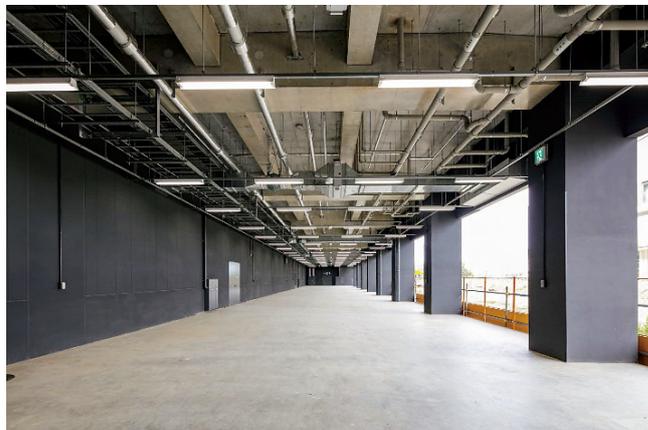
また、VIP エリアのエントランスでは、VIP 専用の入口を設け、金箔の壁で金沢らしさを表現し、来場者に対して「おもてなし」を演出しています。



VIPエントランス

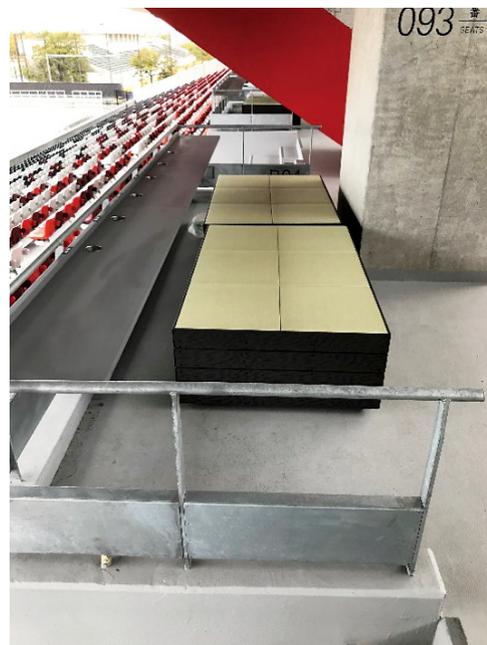
2.3 バックスタンド

1階には、試合時での臨時イベントや、隣接エリアで購入した飲食物を持ち込むことができる、にぎわいスペースを設けています。半屋外エリアとなっており、外部からの利用も可能となっています。



にぎわいスペース

2・3階は、観覧席エリアで、約 5,000 席を設けています。また、畳シートやソファシートなどバラエティに富んだ観覧エリアを設け、友人や家族等と、これまででない、様々な観戦スタイルの場を提供しています。



畳シート

2.4 南サイドスタンド

来場者が最初に通るスタジアムの玄関口として、ウェルカムゲートが作られました。金沢を代表す

る金沢駅のもてなしドームをイメージしています。

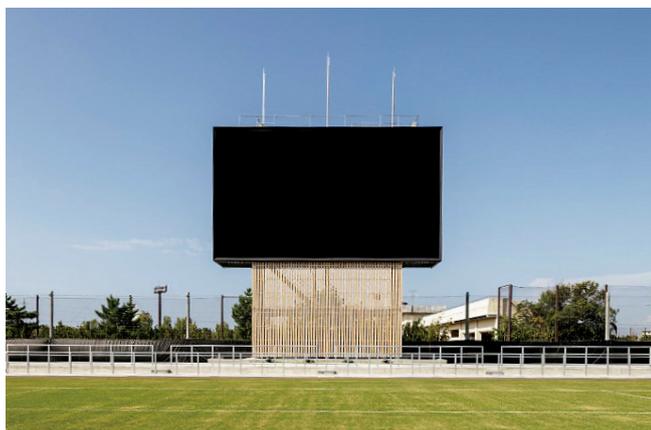
観戦エリアは、立見席となっており、熱狂的なホームチームのサポーターエリアとなっています。約2,000人強が入場でき、ピッチからの距離も7mと近いことから、熱狂的な応援ができるスペースです。



南サイドスタンド

2.5 北サイドスタンド

2段の床になっており、アウェーから来られた熱狂的なサポーターが、こちらで応援します。前列の床高さは、ピッチレベルの高さと同じことから、魅力的な観戦エリアとなっています。将来、スタンド増設ができる計画となっています。



北サイドスタンド

2.6 ピッチ

Jリーグのスタジアム基準上、天然芝の施工が必須でした。約9,000㎡近くもあり、発育不順による再施工等を防ぐためにも、敷地内でモックアップを作りました。芝についても、金沢の気候に適した最適な芝を選定するため、3種類の種を植え、約1.5年の間、生育状況を観察していました。延

べ7日間程で芝施工が完了し、ピッチが姿を現しました。



モックアップ



ピッチ施工状況

2.7 その他

各スタンドには、全ての階で男女別のトイレを配置し、多機能トイレについては、メイン・バックスタンドの観覧エリア付近に計画しました。トイレ内の計画では、一方通行での利用者動線及び使用状況が一目で分かるようなサイン計画で、ハーフタイム時の混雑緩和を行っています。



トイレ

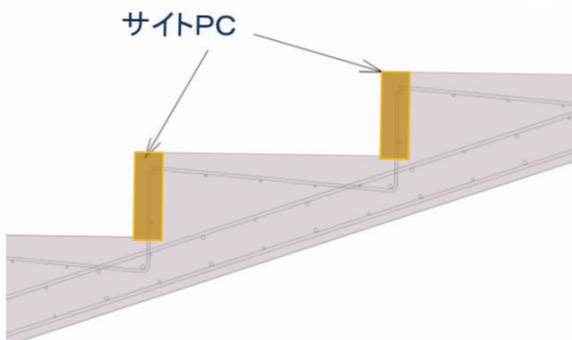
3. 構造計画

建物の構造は、各スタンドの用途に応じて計画しており、独立した構造体としています。

メインスタンドでは、RC造のラーメン構造で計画され、運営・選手エリア・観覧エリア・VIPエリア等、様々な用途に対応しています。

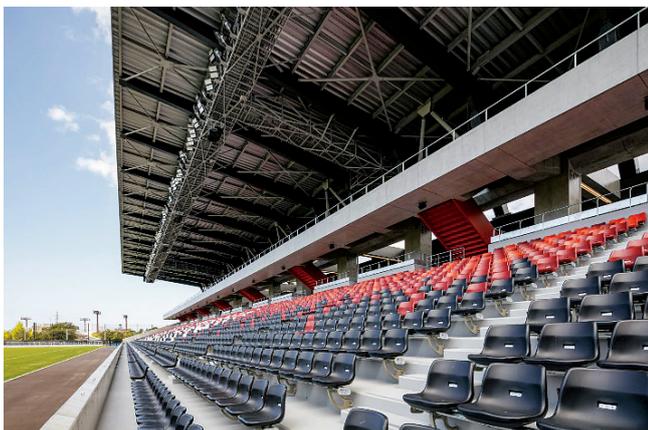
バックスタンドでは、主に観覧エリアがメインとなっておりRC造やSRC造を組み合わせた、観覧スタンド計画としています。

観覧スタンド部分の施工において、在来工法では、構造体スラブと段床部PCの納まりや固定方法、鉄筋の納まり等、段床部の型枠(何千m)の省略可もあり、多くの業種があることから、施工日数の短縮及び災害リスクを少なくするため、PC化による施工の合理化を図りました。現場ヤードが十分であったこともあり、とても有効的な方法でした。



段床前面部分をPC化

屋根はS造で計画し、高所での作業となることから、こちらも災害リスクの低減を図るため、同様に現場ヤードが十分に確保されていたため、地上で地組や溶接等を行い、大型クレーン車で持ち上げる等の工夫を行いました。



上部構造

4. 設備計画

4.1 設備計画

新スタジアムでは、設備機器並びに配管・配線の集約化を可能な限り行い、景観並びに維持管理に配慮した計画としています。

4.2 照明設備

ピッチ内のいずれの個所においても照度1500lx以上の明るさを保持し、均一となるように、照明の配置をしました。LEDライトであるため、On-Offの切り替えが容易で、選手入場時やハーフタイム、試合終了後等、様々なシーンの演出が可能となりなりました。



夜間試合時の照明計画

4.3 給排水設備

ピッチ下部には芝用の配管を設け、芝に満遍なく散水ができる計画としています。散水時間等を制御し、芝の生育に支障をきたさないようにしています。トイレでは、中水(下水の処理水)による排水を行っています。

4.4 昇降機設備

昇降機は、来場者用に3台、VIP用に2台、運営用に1台を設けています。来場者用の昇降機では、駐車場利用やシャトルバス利用者等、どなたにも対応できるバリアフリー施設としました。

4.5 大型映像装置

北サイドスタンドに600インチの大型映像装置を設けており、昼間でも鮮明に映像が流れ、得点表示やハイライト映像等、臨場感あふれる空間の演出をしてくれます。

5. 外構計画

スタジアムの西側には、選手用バス駐車場や運営駐車場、メディア駐車場、優先駐車場を配置しています。また、スタジアムと道を挟んで南側に、来場者駐車場を設けています。駐車場エリアでは、広場空間を設け、試合前後のイベント利用ができる空間を設け、ペDESTリアンデッキと言われる上空通路から、スタジアムに入場してもらう動線としています。

6. さいごに

スタジアムの整備にあたり、設計者や施工業者のご協力で、無事に完成を迎えることができました。特に、施工業者には、スタジアム自体の建設が珍しく、北陸初のサッカー専用スタジアムであったため、1,000名近くの工事見学者に対応をいただきました。

2月より供用が開始され、多くのサポーターに観戦していただいております。これからも、感動や興奮ができる空間になっていただきたいと思います。



南側駐車場より